
君となら

j

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
君となら

【コード】
N0288K

【作者名】
j

【あらすじ】
文明が世界が崩壊する

出会い

誰もいない公園で犬（多分）が鳴いている。ワンワンというありきたりな声で鳴いているので、という理由から犬だという結論になった。

もう夕暮れ、家に帰るはずが自然と足が公園に向かっていく。見慣れたブランコと鉄棒が遠慮しているのか、控えめに公園の端にある。

お目当てのものはすぐ見つかった。なんともベタなことに、ダンボールの中に収納されている。

「お前も大変だな」と苦労しているサラリーマンが言うようなことをいってしまった。オヤジになったな。

「お前も捨てられたのか」といったら、体を震わせながら、肯定か否定かわからんけど低く鳴いた。

見捨てられんな。今の僕の心情を映し出しているようだ。

どうしようコイツ？

少しの間考えた挙句、結局つれて帰ることにした。あまりにかわいそう過ぎる。まあ僕も人のこと（犬だけど）いえないが。

かばんに詰め込むのも哀れなので、僕のYシャツの胸元にねじ込む。少しきついかもしれないが我慢しろよ、しなかつたらひっぱたくかな。という犬にしてみれば理不尽の上ない同盟を一方的にむすんだ。

僕の家のことについて少し話そう。

僕が物心ついたころには、もう父がいなくて、中学のころには、母が他界した。それからしばらく僕と兄貴との2人だけの生活が続いた。

しかし、英語でbute、その兄貴も昨日あっけなく死んでしまった。俺がずつとお前を守ってる といった約束はもう果たされそうにない。

「はあ〜」心の中でため息をついたつもりが、いつの間にか口からこぼれていた。

「どうしたの？血桜くん」魚ッ！！ いかん、動揺しすぎて漢字の変換を間違えた ああ、ちなみに僕の名前は血桜迷《チザクラメイ》 そして僕に話かけてきたのは、美人コンテストに三回優勝をかざった幼馴染 鈴鹿架凜《スズカ カリン》である。

「ねえ、知ってる？ ため息をついたら、ついた分だけ幸せの青い鳥が逃げていくんだって」

「今日の晩ご飯は焼き鳥だな」

「逃げる瞬間を捉えて食べるの?!」そういつてから彼女はバツが悪そうに顔を伏せた。 僕の家状況を思い出したのだろう。

謝るように彼女はいった。「……焼き鳥おごる?」予想外 マジでツツか! 食費つくろう。

さつきも書いたように、僕には親がない そうなると必然的に収入がなくなる。 なので僕にはこの申し出はこの上なくありがたい。

「食う食う」さびしそうに鳴いていた、犬の頭をなでながら僕は言った。

出会い（後書き）

まだ駆け出しですが、楽しんでもらえたらなによりです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0288k/>

君となら

2010年10月28日07時34分発行